

小児がん治療専門医養成コース

養成目標

- 小児がんの病態、基本的診断技術の習得、他診療科及び多職種と連携した集学的治療を実践できる医療人を旨す。また、長期フォローアップ診療による晩期合併症や在宅終末期医療も実践できる人材を育成する。

コースの特徴

- 小児がん拠点病院として、専門的あるいは地域医療機関とも連携し、県内の小児血液・がん疾患のすべてに対応
- 長期フォローアップ外来診療を実践し、晩期合併症や移行期診療への対応
- 小児トータルケアセンター及び緩和ケアチームと協力し、在宅を含む小児がん終末期医療について習得する環境を整備

